

V 県央地区 ～うらおいと活力にあふれる快適環境都市圏・県央～

● 主な取り組み

1 自然と共生するうらおいのあるまちづくり

宮ヶ瀬湖周辺の森林づくりや水源林の適切な管理整備を進め、良質で安全な水の確保を図るとともに、引地川、永池川などの護岸工事、愛川町、厚木市などにおける土砂災害防止施設の整備など自然災害に強いまちづくりを進めました。

不法投棄防止対策として、情報提供者への報奨金制度、監視カメラの設置、地域住民や企業と協力したキャンペーンの実施など、地域ぐるみで不法投棄を許さない環境づくりに努めるとともに、ゆとりと安らぎのある地域づくりとして、相模原公園（フィッシングパーク跡地）の親水性施設や、相模三川公園のスポーツ広場、あいかわ公園の冒険広場などを整備しました。



不法投棄防止キャンペーン

2 安心して快適にくらせるまちづくり

地域での自主防犯活動を推進するため、ボランティア団体の新たな組織化、防犯モデル地区の指定など、自治会やNPO*と連携して取り組むとともに、犯罪抑止のハード面での対応として、本厚木駅、大和駅、相模大野駅などの駅周辺にスーパー防犯灯を設置しました。

また、交通の安全性向上と円滑化を図るため、国道467号、県道604号などでは、歩道整備や交差点改良工事のため、用地取得に着手したほか、交通需要マネジメントの推進に向けて社会実験や実験結果の検証を踏まえた施策の検討と公用車利用によるカーシェアリングなど、効率的・効果的に取り組んでいます。



国道129号「戸田交差点」完成予想図

3 産業の創出・活性化と地域振興によるまちづくり

先端的な研究機関と技術力の高い地元中小企業との技術や人材、取引のマッチングを促進するため、ニーズ調査、展示会・商談会をモデル的に実施し、新たな産業エリア形成に向け取り組むとともに、相模原市、厚木市、座間市、愛川町において企業誘致のための条例を制定するなど、産業集積を促進する環境づくりに努めました。

また、さがみ縦貫道路などの自動車専用道路網の整備を促進するとともに、都市計画道路河原口中新田線（中新田立体）、国道129号（戸田交差点）の立体化をはじめとする、インターチェンジ接続道路の整備を進めるなど、地域の活性化を支える都市基盤整備を進めています。

● 課題と今後の対応方向

水源地域という環境特性に配慮し、水源環境の保全・再生に取り組むとともに、不法投棄、有害鳥獣への対策を強化し、人と自然が共生するまちづくりを進めます。

先端的な企業と地元企業との技術や人材の交流拡大、産学連携や創業支援などにより産業集積と産業活動を促進する環境づくりに努めます。

また、産業活動や観光振興の基盤となる道路網の整備、渋滞解消や交通の安全性向上に向けた交通インフラの整備に引き続き取り組みます。

地区の数値データ（指標）

● 不法投棄箇所数 (単位：箇所)

2003	2004	2005
864 (41.8%)	248 (19.2%)	262 (20.1%)

（「廃棄物対策課調べ」（毎年度末の市町村との合同パトロールなどで確認した不法投棄箇所数）より作成）

● 人口1万人あたりの刑法犯認知件数 (暦年) (単位：件)

2003	2004	2005
264.8 (214.2)	248.9 (209.3)	204.8 (162.4)

※ ()内は全県（「神奈川県警察本部調べ」より作成）

● 人口1万人あたりの交通事故発生件数 (暦年) (単位：件)

2003	2004	2005
88.7 (75.1)	86.0 (72.1)	82.5 (68.2)

※ ()内は全県（「神奈川県警察本部調べ」より作成）

● 工業事業所数 (単位：事業所)

2003	2004	2005
2,875 (24.3%)	2,764 (25.2%)	2,881 (25.5%)

（「神奈川県工業統計調査結果報告」より作成）

● 商業事業所数 (暦年) (単位：店)

1997	2002	2004
12,706 (15.7%)	12,392 (16.2%)	12,085 (16.2%)

（「神奈川県商業統計調査結果報告」より作成）

※ ()内は全県に占める割合

※ NPO

Non-Profit Organization (民間非営利団体) の略。この白書では、「ボランティア活動を行う特定非営利活動法人（いわゆるNPO法人）及び法人格を持たない団体」をいいます。

VI 湘南地区 ～地域力がいきづく躍動都市圏・湘南～

● 主な取り組み

1 湘南の海、大地、風と共生する都市圏の整備

美しいなぎさの保全・再生を図るため、平塚、茅ヶ崎、二宮海岸などにおいて消波提整備や養浜工事等を行うとともに松林の保全育成を進めています。

また、人と自然がふれあう場づくりを推進するため境川遊水地公園など都市公園の整備を進めるとともに、金目川、小出川などで多自然護岸整備を進めています。

さらに、森林の保全と再生を進めるため、秦野市及び伊勢原市の水源林地域を対象に枝打ち、間伐などを実施しました。

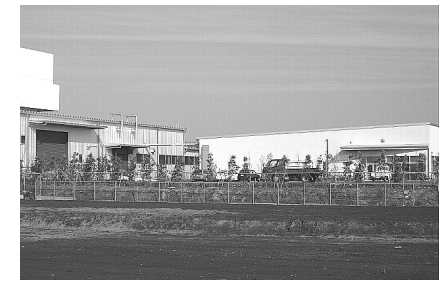


旧吉田茂邸見学会（大磯町）

2 湘南のくらしと文化を支える交通ネットワークの形成と拠点整備

生活利便性の向上や産業活動を支える基盤として、さがみ縦貫道路などの自動車専用道路の整備を促進するとともに、県道44号（伊勢原藤沢）等の整備を進めました。また、相模川以東の国道134号では2006年度までに4車線化が完了しました。

さらに、湘南港みなとまちづくり協議会を設立するなど、みなとを核とした地域の活性化を進めています。



藤沢市有機質資源再生センター

3 湘南の地域力を活用した産業の振興

湘南海岸公園などに訪れる観光客の活動拠点となる観光案内施設（藤沢市観光センター）を小田急線片瀬江ノ島駅前開設しました。

また、旧吉田茂邸の一般見学会を開催するとともに、県立大磯城山公園と一体整備する方針を決定するなど、近代建造物を保全活用した地域づくりを進めています。

さらに、伊勢原市大田地区などまとまりのある農地を対象に農業生産基盤の整備を実施するとともに、循環型農業を推進するため、樹木剪定枝、食品残さ、家畜ふんを利用した堆肥化施設の整備を支援しました。

地区の数値データ（指標）

○ 道路の混雑度が1.0以上の箇所数(平日) (単位：箇所)

1997	1999	2005
52 (53.6%)	53 (55.2%)	35 (51.4%)

※混雑度1.0以上の箇所では、昼間12時間のうち、混雑する可能性のある時間帯が1～2時間以上生じ始めると推定されます。（ただし高速自動車国道を除く）

※ ()内は地区内調査箇所数に対する割合（「道路交通センサス」より作成）

○ 製造品出荷額等(従業者4人以上の事業所) (暦年) (単位：億円)

2003	2004	2005
37,909 (20.2%)	40,606 (21.9%)	41,500 (21.4%)

（「神奈川県工業統計調査結果報告」より作成）

○ 入込観光客数 (暦年) (単位：千人)

	2004	2005	2006
日帰り	25,865 (17.7%)	24,336 (16.4%)	27,348 (18.0%)
宿泊	584 (4.5%)	582 (4.6%)	650 (4.8%)
延べ	26,448 (16.6%)	24,918 (15.5%)	27,998 (17.0%)

（「神奈川県入込観光客調査報告書」（神奈川県観光振興対策協議会）より作成）

○ 小売業の年間商品販売額 (単位：億円)

1999	2002	2004
12,919 (14.3%)	11,791 (13.9%)	11,796 (14.0%)

（「神奈川県商業統計調査結果報告」より作成）

※ ()内は全県に占める割合

● 課題と今後の対応方向

山・川・海の連続性に着目した総合的な保全・再生の取り組みを進め、丹沢大山の森林や里地里山のみどり、川辺の自然環境、白砂青松の湘南海岸など、湘南地域の豊かな自然環境を保全し、将来に引き継ぎ、持続的に活用していくため、人と自然が共生する地域づくりをめざします。

また、広域的な交流の促進や地域内の連携強化を図るため、自動車専用道路網をはじめとする幹線道路網の整備を進め、快適な生活や活発な企業活動を支える多様な交通ネットワークの形成をめざすとともに、新たな都市拠点づくりや既存市街地の機能更新・再生を進め、誰もが安心してくらせる快適な都市環境をめざします。

さらに、地域の活力を生かした地域産業の活性化を図るとともに、農林水産業の生産基盤の整備や地産地消の取組みを推進し、農林水産資源の有する多面的機能の発揮と循環型社会への貢献を図ります。